



一般質問

市民の声を市政に

※ 金子進議長は職責上（議事整理権）、
監査委員の中川朗議員は申し合わせに
より一般質問は行っていません。
（文責は、各質問者）

一般質問に28人が登壇

新教育長に教育に対する 基本姿勢について問う



松本 浩一
議員

次の4点について、教育長の考えを伺います。

①教職員の多忙化解消について、どう取り組むのですか。

②現在県独自で小学校1・2年生で35人学級、中学校1年生で38人学級を実施しています。全学年で少人数学級の実施が早急に必要と思いますが、どうですか。

③全国学力学習状況調査の結果公表については、これまで市は学校の序列化や過度な競争等に配慮し「結果の公表はしない」としてきましたが、どうですか。

④市の図書館には指定管理者制度が導入されています。日本図書館協会は「図書館に指定管理者はなじまない」としています。どうですか。

○教育長

①負担感の軽減と休暇を取得しやすくする環境を整え、教職員が人間性を高め、子どもと向き合える時間の確保に取

り組んでいきます。
②国の定数改善で実施されるべきです。今後も定数改善や「加配」を国や県に要望していきます。

③市の児童・生徒はおおむね発達段階の学力を身につけています。結果の公表は、今後慎重に検討していきます。

④図書館は重要な社会教育施設です。今後も指定管理者により管理運営を行い、市民サービスの上を目指します。

このほか

○職員の未払い超過勤務手当（残業手当）は早急に全額支給を

新教育長に伺う （学校給食費の 公会計化について）



小久保博史
議員

給食費の滞納については以前から問題になっていますが、督促等については現場の教職員が対応をしています。税金の滞納の問題とは性格が少々違います。各学校においては、滞納した給食費をいかにして納めていただくかという本来業務ではない余分な負荷

がかかっています。児童生徒に向き合うべき時間を削減して対応しなくてはならないことが問題ではないでしょうか。教職員の負担を軽減するためにも、回収のための部署をつくり、そちらで対処してもらい、債権を譲渡し、回収を代行してもらい、もしくは差し押さえを含めての法的対処をするための事務手続き等は学校ではなく教育委員会等で行い、学校の負担を軽減するために公会計にすべきだと思いますが、その効果と今後の方向性について伺います。

○学務指導担当部長

公会計を実施した場合の一般的な効果としては、教職員の負担軽減、学校給食費の透明性・公平性の向上、給食費に係る事務を一括管理することで事務の効率化と収納率の維持向上が図れます。

○教育長

学校給食の公会計化についてはさまざまな課題はありますが、教職員の負担軽減や会計の透明性など多くの効果も期待されています。今後についても学校での業務の適正化と学校教育の充実に向けて、本市の実情に沿った公会計化への検討を進めていきます。

春日部市の観光について



永田 飛鳳
議員

本市の観光資源として、観光振興基本計画でも、春日部で認知度が最も高いのは、クレヨンしんちゃんという結果が出ており、また、一括質問の答弁でも、本市の観光の強みとして「クレヨンしんちゃん」の舞台として本市の認知度の高さ」が挙げられておりました。春日部といえば一番に『クレヨンしんちゃん』が出てくるのは、皆さんも知っているとおりだと思います。だからこそ、その「認知度が高いもの」で集客へとつなげられる、というのが理想だと思われませんが、観光としてのクレヨンしんちゃんの活用について春日部市としての考えを伺います。

○環境経済部長

ぶらっとかすかべでのしんちゃんとの記念撮影のお手伝いや市内スポーツの案内などおもてなしに取り組んでいるほか、春日部駅の発車メロデ

イーになったクレヨンしんちゃんの曲を楽しむ方や、しんちゃん絵はがきを求めて外国人観光客が団体で来訪するなど、各所で集客力を確認しています。このようにクレヨンしんちゃんは本市の観光振興において非常に大きな魅力を持つており、今年度は市内に点在するスポットを集約した多言語版マップを作成し、新たな旅行者の誘致に努め、回遊性向上を図り、消費機会の拡大にもつなげていきます。

このほか

○納税のキャッシュレス導入について



ぶらっとかすかべ

中心市街地のまちづくりについて



栄 寛美
議員

現在、春日部駅付近連続立体交差事業が進んでいることを評価します。しかし、鉄道を高架化して春日部駅東西のまちが一体になるのみでは「点」です。中心市街地への投資が起これば価値を高め、事業者が集まる求心力を強くすることにより活性化に向かって好循環を生み出すことが重要です。そのために「面」としてのまちづくりが必要です。

そこで、以下伺います。

①春日部駅東口地域における今後の再開発等の土地の高度利用について

②人が集い、交通の重要な拠点である春日部駅・中心市街地への大型バス駐車場を設けることについて

○鉄道高架担当部長

①今年度から新たに設置した中心市街地まちづくり審議会の中で地域の皆さまの意見交換を行い、民間投資を呼び込む誘導策として検討していき

ます。連続立体交差事業の進捗を図りながら、東西が一体となり、持続的に発展する夢のあるまちづくりを総合的に進めていきます。

②駅付近連続立体交差事業を契機として中心市街地が大きく変わるこのタイミングにおきまして、道路交通に関する問題につきましても、春日部市中心市街地まちづくり審議会におきまして議論していきたいと考えています。

このほか

○高齢社会に対応した支援について

○口と歯の健康について

新庁舎（新しい市役所建設）について



山崎 進
議員

春日部市は令和3年を目的に庁舎の建て替えを計画しています。その実施計画について伺います。

また、これからの市役所は今までのような行政手続きだけに行く場所から、多目的な目的で行く場所になるのではないかと思います。越谷市や

草加市などの他市の建て替え計画を見ても、市民が交流するスペースが計画されています。春日部市もこうした交流スペース「まちのコモンスペース」が計画されていますが、あまり聞きなれない言葉ですので、どんな場所でのように活用するのか、新庁舎建設計画の特徴を伺います。

○総合政策部長

実施設計につきましては、現在6月上旬の契約締結に向けて手続を進めています。

「まちのコモンスペース」

につきましては、市民が集う新本庁舎の顔となる場所であり、これまでにいただいた市民の皆さまからの意見等を参考にしながら、さまざまな市民の出会いや交流が生まれる魅力ある空間となるよう、用途やスペースを検討していきます。

その中で、文化芸術活動や講演会等の場としてのギャラリー、まちの魅力発信・観光情報・地場産品の販売のためのシテイセールスペースやカフェなど、他市の事例を研究しながら総合的に検討していきます。

このほか

○教育について

地域の皆さんの憩いの
場所としての公園整備を



今尾 安徳
議員

浜川戸第2公園周辺の方から、公園の木の伐採や注意看板の設置、バリアフリー化の問題など、要望しても市が十分な対応をしてくれないとの相談がありました。

市では、公園面積900平方メートル以上で25年以上経過しており、地域と美化協定を結んでいる公園を対象として、毎年度1カ所程度リニューアル事業を実施し、整備を進めています。リニューアル事業では、地域の方からのアンケートを受けて計画を策定し、住民への説明会を実施してさらに地域住民の意見を聞いてリニューアルされた新たな公園をつくっており、地域の皆さんから大変な好評を得ています。

これにならない、リニューアル事業対象外の公園でも基準を設けて同様の対応ができないか市長の考えを伺います。

○市長

公園については、現状においても地域の方々の意見や要望に十分耳を傾け、子どもたちや高齢者の方々が安心して利用していただけるよう維持管理や整備に取り組んでいます。また、街路樹などもそうですが、木が大きくなり過ぎたものは整理していく方向です。公園においてもそういった観点で整理していきたいと思います。

このほか
○小中学校の机とイスの定期的な更新を
○市道2-1号線の側溝のふたかけを早急に

食品ロス削減を推進



荒木 洋美
議員

まだ食べられるのに捨てられる食品ロスを減らすため「食品ロス削減推進法案」が成立しました。農林水産省によると国内で2016年度に廃棄された食品は約2759万トンで、このうちまだ食べられたものは約643万トンあったと推計され、国民全員

が毎日ご飯を茶わん一杯分捨てた計算となります。

国連の持続可能な開発目標(SDGs)は一人当たりの食料廃棄を2030年までに半減させる目標を掲げており、同法律は政府の基本方針を踏まえて自治体に推進計画を策定いただきSDGsに掲げられる目標の12番「つくる責任つかう責任」の中の食品ロス廃棄の半減と未使用の食品を必要とする人へ届ける「福祉的活用で「もったいない」を「ありがたう」に変える」運動を推進していただきたいと思いますが、市の考えを伺います。

○市長
本市では今年度からSDGsの具体的な検討を進めることとしており、食品ロスの問題につきましても重要な課題の一つと考えております。

このような状況を市民の皆さまに認識していただき、必要な対策を講じていただくために、本市におきましても食品ロス削減に積極的に取り組んでいきます。

このほか
○認知症施策の推進
○統合型地理情報システムについて

神明貝塚の国史跡指定
を目指して



吉田 稔
議員

西親野井地区の神明貝塚は日本の考古学史上においても非常に貴重な貝塚であり、縄文時代の人骨が発掘されたことでも有名です。現在、国史跡に向けて関係部署で手続きに取り組んでいます。以下伺います。

①神明貝塚の特徴
②宝珠花小学校跡地の利活用と周辺環境の整備について
③今後の予定について

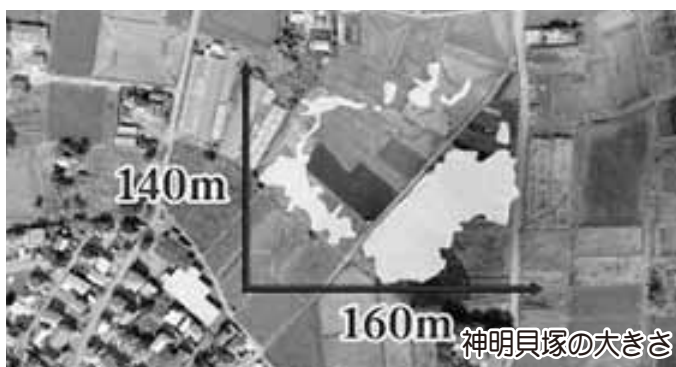
○社会教育部長
①特徴としては、直径160メートルの大規模貝塚で国内の貝塚の代表であること、東京湾岸の貝塚密集地域の最北に位置する数少ない大型貝塚であること、植物資源を中心とする食生活の多様性を示すこと、300年かけてつくられたムラと貝塚のため同時期に築かれた他の貝塚の形成過程をひもとくことができること、遺跡全体が良好に保存されていることが挙げられます。

②旧宝珠花小学校跡地では国

史跡の気運醸成の場として活用を関係各課と調整し、周辺環境整備については国史跡指定後に文化庁や県、庁内関係課、地域の皆さまと協議しながら策定する保存活用計画に盛り込むよう調査研究します。

③地権者の皆さまとの合意形成後、今年7月を目途に文部科学省及び文化庁あてに意見具申を行い、11月に答申がなされ、来年2月末の官報告示をもって国史跡の指定となる予定です。

このほか
○公共施設マネジメント基本計画について



神明貝塚の大きさ

**春日部駅付近での
東西交流について**



鈴木 一利
議員

いよいよ春日部駅付近連続立体交差事業の埼玉県都市計画決定が3月に告示されました。東西交流の最善策として一日も早い完成を望みます。同時に完成までの期間の東西交流も重要ですし、新市役所が旧市立病院跡地に決定されていますので、東西回遊の向上にもしっかりと取り組むべきです。

そこで、現在の東西交流手段であります民間バスと春バスの連携について伺います。そして、富士見町地下道エレベーター設置の今後について、連続立体交差事業内での仮設地下自由通路の予定について伺います。

○都市整備部長

民間バス会社と春バスの連携では、第3次春バス運行計画の策定に当たり、通勤や通学などに合わせたダイヤの編成を行い、次期計画の策定においても東西交流を確保する

運行ルートとなるよう検討していきます。

○建設部長

エレベーター設置については、今年3月に春日部駅付近連続立体交差事業の都市計画が決定され、事業認可に向けた計画が検討されていますので、手戻りが生じないよう関係機関と調整していきます。

○鉄道高架担当部長

円滑な東西交通の実現に向け、仮設地下自由通路の設置を東武鉄道と調整しています。

このほか

○地域共生社会の実現に向けて取り組みについて



**美術館を設置し、
彫刻とともに芸術のまち
として振興を**



卯月 武彦
議員

春日部駅東口周辺には、19体の彫刻が設置されています。日本を代表する彫刻家の作品もあり、大変貴重です。この地域に美術館を設置し、芸術のまちとして振興を図ることを提案します。

人間国宝を含む優れた芸術家が市内にお住まいです。美術館を造り、そうした春日部ゆかりの芸術家の作品を展示すべきです。美術館建設についての考えをお聞きます。新庁舎に教育委員会が移転するので、当面、教育センターを美術館として活用すれば費用もあまりかかりません。教育センターの活用について市長の考えを伺います。

○社会教育部長

美術館の建設については、古利根公園橋を核とし、新町橋から埼玉葛橋までの古利根親水空間を野外美術館と位置づけており、新たに美術館を建設する考えは現時点ではあり

ません。

○市長

鉄道高架事業を中心として、駅東西のまちが一体となり、生まれ変わろうとしています。これら計画、事業は連携し合うことで効果を発揮します。教育センターの活用については、こうした駅周辺の事業や新本庁舎と連携してまちの回遊性を向上し、中心市街地が一体となったまちづくりを後押しする施設利用となるよう検討してまいります。

このほか
○粕壁小学校放課後児童クラブの待機児童解消を

**「まちづくり事業」
窓口一本化について**



山口 剛一
議員

現在、まちづくりに関する事業を、市のいろいろな部署が所管されております。どの事業も市民との協働が必須ではあります。参加する市民にとつては、事業を所管するさまざまな部署から情報や連絡、協力の要請が別々に入るというのが現状です。

特に郷土愛溢れ、自分たちの「まち」の活性化のためにできることがあるなら積極的に協力しようと行動してきた若者たちからは「市役所が縦割り組織なのはわかるが、どうしてこうも情報共有がされていないのか」という声をお聞きます。

そこで、まちづくり関連事業窓口一本化について、市はどのように考えているか伺います。

○鉄道高架担当部長

春日部駅付近連続立体交差事業といった市の骨格をなす事業が大きく動き始めるとともに、NEXT商店街プロジェクトなどに資する事業を多数計画しています。市としては、春日部市まちづくり戦略会議などを活用し、情報共有を図ってまいります。

また、春日部市中心市街地まちづくり審議会の事務局の都市整備部で、庁内の連携体制の構築も進めています。関連する事業も行政側で課題の事前調整など、市民の皆さまの負担軽減に努めてまいります。

このほか

○人を活かす組織「春日部市」について